

製缶加工のプロ、三起鋼業にお任せ!! ニーズにすべてお応えいたします 「お客様の支えになることが誇りです」

三起鋼業

三起鋼業（横浜市瀬谷区中屋敷、菊地金光社長、045・302・4078`<http://www.sankikogyo.net>）は、昭和54年に創業以来、鉄・ステンレスを中心に製缶加工・溶接・濾過機、ダクト配管製造を主業として工場ライン向け耐熱扉やステンレスタンク、蒸気配管などさまざまな製品を取扱っている。同社の技術力はあらゆる業種の取引先から高く評価され、菊地社長は、同社創業前の前職でシンガポールにて技術指導を行うほどの技術・ノウハウを有し、現在は、長男である菊地健一取締役とともに製造に携わっている。

同社の強みは、永年培ってきた熟練技と技術、社長自ら改良を施した豊富な設備（シャープカッター、シャーリング、ラジアルボール盤、ベンディングロール、ロータリーバンドソーほか）をはじめ、お客様の用途や要望に合わせてオーダーメイドで製品を製造できる



インド・タイムラー社に納品された大型耐熱扉

点、また、同社で加工から組立まで一貫して行うため納期やコストダウンにも柔軟に対応できる点である。低価格の中国製品が増えている最近でも、強度や耐久性では絶対に負けない自信がある。

「製品は会社を映す」という菊地社長の考えから、短納期でも一切の妥協は許さず、工場内は繁忙期でも常に整理整頓されている。工場見学に訪れた近隣の製造業者や取引先に対し、社長自ら指導を行うこともある。「業種、用途、立地によって必要となるものは千差万別。お客様のニーズに全力で応え、支えとなるのが私たちの仕事であり誇りです」と社長の語る通り、これからも同社はお客様のために最高レベルの製品づくりに取り組んでいく。

無料相談・見積り、全国発送も承っているので、詳しい情報については、ぜひ同社のホームページをご覧ください。



菊地金光社長（右）と、長男である菊地健一取締役